

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------|----|----------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センター六甲ふくろうの家 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 3月10日 | | ～ 2026年 3月 17日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 63 | (回答者数) 43 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 3月 24日 | | ～ 2026年 3月 26日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 26日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | 豊富なプログラム内容 | ・クッキングで手先を使った活動や、山登り等地域の地形を活用したプログラムを組み、感覚の刺激を意識した活動内容を実施している。 | ・子どもたちがどんな活動があるとより楽しみに来所してくれるか、アンケートなどで聞き取りしながら積極的に取り入れていく。 |
| 2 | 適切な支援計画を立て、保護者からのニーズに柔軟に対応している。 | ・面談時に丁寧な聞き取りをして、長期的な支援の課題を保護者にわかりやすく説明している。 | ・保護者の目指したい方針とこちらが最優先で支援したい課題をすり合わせて、双方が子どもに同じ関わりが持てるように進めていきたい。 |
| 3 | その子に合ったプログラム(専門療育・個別療育・ペアトレ等)を提供している。 | ・事務所でやっている様々な専門療育をその都度お知らせし保護者の意識が高まるよう発信している。 | ・療育風景をお便り等で発信して活動の雰囲気伝わりやすいようにしたい。 |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ・事務所のイベントに地域の方や近隣の幼稚園・学校等の子どもたちと関わることができる機会が持てていない。 | ・今年度もハロウィンイベントを一般開放したが、通所児童の保護者への周知ができていなかった。イベントの地域開放においては、特性を抱える子どもたちをイレギュラーな環境に置く不安と近隣の教育施設や住民の方々の行事日程のすり合わせが難しい。 | ・まずは利用児童の兄弟姉妹から環境を大きく変えず、小さいコミュニティからスモールステップで進めていきたい。事業所のイベントの開放については、近隣のこども園に広報活動を行い、保護者への通知も行う。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |